

# 第54回全国広報広聴研究大会

## ふるさとに愛を ～日本のひなた宮崎県から

地方から首都圏への人口流出が続く中、地方に人を呼び戻すために、地方の魅力を内外に発信し、地域への愛着を深めていく必要があります。

愛する「ふるさと」を見つめ直し、内外から地域を盛り上げ、「ふるさと」と人とをさらにつなげる——地域愛の醸成や地域活性化に結びつけていく効果的な情報発信について考えます。

### ■プログラム 2017(平成29)年6月30日(金)

9:30～10:15	日本広報協会定期総会	13:15～14:30	トークセッション 地域に人を呼び戻すために ～地域資源を生かした雇用創出を考える 齋藤 隆太 株式会社サーチフィールド取締役 齋藤 潤一 地域プロデューサー 土屋 有 宮崎大学地域資源創成学部講師
10:00～10:30	大会受付	14:40～15:10	事例発表1 地域住民が未来を描く場づくり ～地域が大切にしてきた思いを伝える 渡川みらい会議 (宮崎県美郷町)
10:30～11:30	開会式、表彰式 挨拶 日本広報協会会長 宮崎県知事 宮崎市長 祝辞 内閣府 総務省 全国広報コンクール表彰 内閣総理大臣賞 総務大臣賞 日本広報協会会長賞 読売新聞社賞	15:20～15:50	事例発表2 地域で稼ぐ“人財”を育成 ～地域づくりの実践塾を設立 日向ドラゴンアカデミー (宮崎県日向市)
11:45～12:15	特選等表彰者の事例発表(15分×2人) ※全国広報コンクールに入選した作品の中から、2部門2作品について、担当者が意図、特色などを紹介します。	16:00～16:30	事例発表3 思わず共感する小林の良さを発掘 ～市民のアイデアで地域の魅力を発信 てなんど小林プロジェクト (宮崎県小林市)
		16:30～16:40	閉会式

主催	公益社団法人日本広報協会、 宮崎県、宮崎市	後援	内閣府、総務省
協賛	全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本新聞協会、日本放送協会、宮崎県市長会、宮崎県町村会		
開催日	2017(平成29)年6月30日(金)		
全国広報広聴研究大会会場	宮崎市民プラザ オルブライトホール 宮崎市橘通西 1-1-2 ※ 宮崎市民プラザ JR 宮崎駅・南宮崎駅からバスで10分、徒歩30分	日本広報協会 定期総会会場	宮崎市民プラザ 4階 ギャラリー 宮崎市橘通西 1-1-2
募集人数	200人		
参加費	会員 7,200円(税込み) 会員外 11,310円(税込み)		
支払い方法	参加証・請求書を受け取った後、セミナー当日までに指定口座にお振り込みください。		
問い合わせ・申し込み先	申し込み書に必要事項をご記入の上、ファクスでお申し込みください。 公益社団法人日本広報協会・事業部 電話：03-5367-1701 ファクス：03-5367-1706 申し込み書は、当協会ホームページからもダウンロードできます。▶ <a href="http://www.koho.or.jp/">http://www.koho.or.jp/</a>		



13:15 ~ 14:30

トークセッション

## 地域に人を呼び戻すために ～地域資源を生かした雇用創出を考える

齋藤 隆太

株式会社サーチフィールド取締役／  
FAAVO 事業責任者／F×G 事業責任者

齋藤 潤一

地域プロデューサー／  
NPO 法人まちづくり GIFT 代表理事／  
慶應義塾大学大学院非常勤講師

土屋 有

宮崎大学地域資源創成学部講師／  
複数の地方発ベンチャー顧問

地方創生のキーワードの一つ「ひと・まち・しごと」。地方で「ひと」をつくり、その「ひと」が「しごと」をつくることによって、「まち」が「ひと」を呼び戻します。「宮崎スタートアップバレー」は、宮崎県を「仕事と起業家の創出」で世界一チャレンジしやすいまちにするために設立されました。地方が盛り上がるには、どのように仕事を創出すればいいか、どのように起業家を生み出す環境をつくれればいいのか。「宮崎スタートアップバレー」の共同代表を務める三人とともに、地域資源を活用した事業の創出、地域での雇用の拡大、地方で事業を立ち上げる起業家への支援など、地域活性化に結びつくヒントを考えます。



14:40 ~ 15:10

事例発表 1

## 地域住民が未来を描く場づくり ～地域が大切にしてきた思いを伝える

渡川みらい会議（宮崎県美郷町）

美郷町の上渡川地区で、30代のIターン者やUターン者が中心となって活動している「渡川みらい会議」は、住民が地域の未来を描き、ビジネスに繋げていく場となっています。2016年8月からワークショップを重ね、「地域資源を生かしたビジネスの創出」を目的に、渡川の魅力や大切にしてきた思いなどをさまざまな形で発信しています。2016年末には「限界集落を救え!里山のおばあちゃん達が活躍するカフェをつくりたい!」というタイトルのクラウドファンディングを通じて、目標金額を達成しました。



15:20 ~ 15:50

事例発表 2

## 地域で稼ぐ“人財”を育成 ～地域づくりの実践塾を設立

日向ドラゴンアカデミー（宮崎県日向市）

未来の日向市の原動力となる若者を育成する“人財”づくり事業に取り組む「日向ドラゴンアカデミー」。人と地域資源を生かしたビジネスを創出し、持続可能なまちづくりを実現することを目的に設立された、地域づくりの実践塾です。2016年度は、1期生23人が講座や合宿、公開プレゼンテーションを通じて、地域資源の柑橘類「へべす」の販路開拓方法についてアイデアを出し合いました。2017年の夏に新たな受講生を募集する予定です。



16:00 ~ 16:30

事例発表 3

## 思わず共感する小林の良さを発掘 ～市民のアイデアで地域の魅力を発信

てなんど小林プロジェクト（宮崎県小林市）

市民や地元出身者の郷土に対する誇りや愛着を醸成するために、風土・生活習慣・方言など、地元縁のある人が思わず共感するような「小林あるある」を発掘する「てなんど小林プロジェクト」。その中でも、フランス語に聞こえる西諸弁のYouTube動画「ンダモシタン小林」は数々のメディアに取り上げられました。このほか、「西諸弁ポスター」「写真・動画コンテスト」「LINEスタンプ」「高校生とつくるWebCM」など、市民からアイデアを募り、一緒に地域の魅力を発信しています。